

スポーツを生かした健康で元気なまちづくりについて

平均寿命と健康寿命

質問 厚労省の調査では、平成22年度の平均寿命は男性が79・55歳、女性が86・30歳ですが、健康寿命は男性70・42歳、女性が73・62歳と平均寿命と比較して大きな隔たりがあります。健康寿命が延びれば、医療費や介護給付費を抑制するこ

小川 信 議員

とができます。介護が必要な高齢者も増えてくると思いますが、介護にならないような予防活動はどのような行われていますか。市民の健康を維持していくためにデータベース化して、健康づくりに役立つ取り組みは行われているのですか。運動によって医療費の削減

観光政策と教育行政について

斉藤 貢一 議員

質問 いじめ防止対策推進法が施行され、学校や行政の責務を想定しているが、

や近隣との共同開催などで、誘致していく考えについて伺います。

当市の対処責任に対する進捗状況について伺います。

答 本市では、「館林市

群馬県は魅力度調査では毎回最下位に近い状況にあります。市内における市の認知度を高めるために、県スポーツ大会を持ち回り

定するとともに、全ての小中学校においても独自に「学校いじめ防止基本方針」を策定するなど、組織的な取り組みを行っております。

答 健診結果データから、

特定保健指導の利用者のうち約3割の方が改善されていると確認されています。体重や腹囲が基準を上回った人が週3回、30分以上のウォーキングをし、間食を控えて腹八分目の食事を規則正しく食べた結果、半年で約6kg減量ができたという結果が出ています。運動をすることで健康な体づくり、結果的に医療費が削減できるものと思います。多々良沼を周回する夕陽

県大会の本市への誘致に関しては、認知度向上のためにも、観光事業と連携し、働きかけたいと思います。

質問 教育委員会の役割に

ついての問題点は数多く挙げられますが、来年度、地方行政組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が施行されるに当たり、教育委員会としての考え方について伺います。

平成25年には280万円の予算で茂林寺観光振興事業として実施されるなど、

の小径、保安林内の彫刻の

小径、城沼を周回する朝陽の小径、街なかの歴史の小径、茂林寺沼周辺や近藤沼等を周回するウォーキングコースもありますので、気軽に介護予防や健康づくりができるマップを準備中です。

障がい者のスポーツ振興は

質問 オリジナルピックと同時にパラリンピックが開催されますが、障がい者のスポーツはリハビリ的なものにと偏りがちで、スポーツとしての位置づけが弱かったと

茂林寺沼公園用地の観光振興に向けた検討をされてきたと思いますが、内容について伺います。

答 総合教育会議、大綱

によって教育委員会が住民に開かれた存在としてどのように信頼を得るかなど、市民に見える形で教育行政を改善していくという強い覚悟で取り組む所存です。

茂林寺沼公園用地の展望については、楽しみ・遊びの機能、触れ合い・交流の機能等、観光客も地元の人

思います。市の振興策はどのようになっていますか。

指導者や施設の問題

答 障がいのある方も子どもから高齢者、障がいの程度などによりスポーツの種類も変わってきます。地域の方々とグラウンドゴルフや輪投げ、健常者のクラブに参加している方もおります。障がい者スポーツへの知識や技術がなく、環境不足等の課題もありますが、今後、指導員の普及等を図ってまいりたいと思います。

も集える場所としてのイメージで提言しております。

要望 教育委員会の仕組み

が変わることや、市民の皆様に当市の教育行政を正しく理解してもらうための啓蒙方法を考えていただきたい。また、茂林寺沼南公園用地の事業化には、あと十数年かかると考えられますので、整地し、芝生の多目的広場として、地域住民や市民の皆様幅広く活用できるように方策を早急に取っていただくよう要望します。